

Insource Digital Academy

DXpedia

2024.06

Vol.

1

DXを自社人材で実現する



|特集|

ChatGPT時代

生成系AIの普及がDXを加速する



杉山 晋一

株式会社インソース
デジタルアカデミー
代表取締役執行役員社長

AIは「優秀な部下」

株式会社インソースデジタルアカデミー（以下IDA）の新しい冊子「DXpedia®」の創刊にあたってご挨拶申し上げます。

ChatGPTに代表される生成系AIの登場・爆発的な普及により、企業・組織にとってDX実現の重要性はますます高まっています。私はAIを「優秀な部下」と位置付けていますが、そのAIを使いこなす人間には「上司」としての判断能力が求められます。判断能力は様々なプロジェクトにチャレンジし、成功・失敗を繰り返すことにより養成されます。

DXが実現した経営スタイルであるアジャイル型経営では、この

ようにチャレンジし、みずから判断する企業文化は必須になります。AIを使いこなし業績を向上させるには、自身の成功・失敗体験を通じて判断軸を持つ、DX人材の育成が不可欠です。

DXIIビジネススキル+IT力

当社は設立以来、DXの実現とは、ビジネスパーソンにとってデジタル技術・ITスキルが読み書き・四則演算と同様な常識になることだと考え、人材育成事業を実施してきました。

当社のDX人材育成研修の特徴は「現場ですぐに役立つ」をテーマに、現状分析・課題発掘・問題解決といったビジネス力を、デー

タサイエンス力・データエンジニアリング力といったITスキルと同様に重視していることです。

経営トップ層向けのDX理解研修や、中核となるデジタル選抜者人材育成、全社員向けのDX動画など、各階層別プログラムを数多くご用意しています。DXアセスメントや人事評価制度構築についても対応させていただきます。

さらにDXによる経営変革を進めるための一環として、経営幹部・候補者向けの意識改革研修・セミナーも実施しています。

トップのマインドに革命を

さて、生成系AIを有効に活用する手法が、プロンプトエンジニア

リングです。

プロンプトエンジニアリングとは、具体的にAIに何をどのように指示するかということであり、指示の仕方の巧拙により、AIの回答内容・精度は大きく変わります。

見方を変えると、日本語や英語といった自然言語でAIに指示できるといったことは、これまで必要だったプログラミング言語やノーコードツールを使わずに、最高の武器であるAIを活用できるという事です。

企業経営者・リーダーが最も得意とする言葉によるガバナンスやマネジメントが、そのままAIに対して使えるようになるのです。

すなわち、企業トップが何となく苦手意識を持っていた本業への

|特集|

ChatGPT時代

03

プロンプトでAIをあやつる

前提や体裁を正しく指示して完成度UP!

05

AIそれはデキる部下

インソースグループの生成系AI研修

07

AIと作る表紙デザイン

生成系AIを有能なアシスタントにしよう

08

コラム 白山から宇宙へ

未来を切り拓くSX（スペース・トランスフォーメーション）

09

Web版 DXpedia® 人気記事

Excelのオートフィルオプションでもっと便利に!

VLOOKUP関数は、構成を知れば怖くない!

DX推進に役立つ資格特集①

パソコン画面をつけたまま席を立っていませんか?

DXpedia®は株式会社インソースデジタルアカデミーの登録商標です。

SEからプロマネへ

デジタル活用が、得意分野に変わるのです。このマインド変化が近いうちに急速に訪れ、DXを重要な経営課題に位置づける企業・組織が一気に増加すると私は考えています。

さて、DXが一般事業会社や官公庁・地方自治体で本格的に実現

されるとき、システム会社や社内SEの方には、どのような能力が求められるでしょうか。

単にコードが書けるというプログラミング能力は、AIの得意分野でもあり、人間がやる業務としての重要性は低下してきます。人間に求められるのは、プロジェクト全体の進捗・品質・納期等を管理するプロジェクトマネージャーとしての能力でしょう。

最後に

SEであっても、お客様のニーズに対応できる営業力や、データ活用のプロとしてのデータサイエンティストの能力もますます重要になると想定しています。

なお、当社は、SEの方向けの能力開発研修も多数用意しています。

2024年度はDX革命の初年

度になると私は考えています。

新しい技術の紹介や、企業経営への生かし方など、当社が考えるDX実現に必要な情報や、今後DXpedia®の記事として、世に出していきます。ご期待ください。

2024年6月1日

プロンプトで

AIをあやつる

ChatGPTのような生成系AIは「道具」です。小さく打てば小さく響く。大きく打てば大きく響く。正しく使えばこんな便利な道具はないのです。

図表1：ChatGPTにSNS告知を作らせた例

あなた

食品の即売イベントをしようと思います。以下の前提でSNS向けの文章を300字以内でつくってください。適切なハッシュタグを3つくらいつけて。

#前提

- 食品は北海道産の魚介類の干物や缶詰
- 市価より2割ほど安く提供
- 税込1,000円～3,000円程度
- 駅前ビルの1階広場で、5月1日～3日に開催
- 家族連れや高齢者をターゲット
- 魚介のアイスクリームもあります

ChatGPT

5月1日～3日まで、北海道産の新鮮な干物や缶詰を特別価格で提供する即売イベントを開催します！

地元の海の恵みを味わってください。

税込1,000円～3,000円まで、お財布にやさしい価格でご提供します。家族連れや高齢者の皆様、ぜひお越しください！駅前ビルの1階広場でお待ちしています。さらに、魚介のアイスクリームもお楽しみいただけますよ。

#北海道産食材 #即売イベント #お得

前提や体裁を正しく指示して完成度UP！

話題のChatGPTは無料で登録できるので、PCやスマホにインストールして実際に使ってみた方もおられると思います。しかし、思っていたような答えが出なかったり、間違った回答が出てきたりして、いまいち活用できなかった、それっきり放り出してしまった、という経験のある方も多いのではないのでしょうか。

ChatGPTのような生成系AIから適切な回答を引き出すには、適切な指示文（プロンプト）が欠かせません。

えてあげること、あなたの要求に沿った完成度の高い回答が戻ってくるのです。

5W1Hを盛り込む

検索エンジンと同じようなイメージで「○○を教えてください」と短いキーワードを入れれば答えが返ってくる、というものではなく、成果物をつくる前提条件や求める体裁、利用シーンなどを詳しく教

たとえばあなたが食品の即売イベントを開こうと思っているとします。そのときに、商品の特徴や強み、価格帯、開催場所や時間、

図表2：ChatGPTにビジネス文書を書かせた例

あなた

以下のメール文章を書いてください

#前提条件

あなたは部品製造業者XYZ社の担当者
あて先は部品納品先の自動車メーカー ABC社の課長

#目的

ABC社の来年度の生産計画の情報共有のお願い

必要な部品を正確に供給するため

#条件

ビジネス用の丁寧な文章で300字以内で

▼

ChatGPT

ABC社 課長様

いつもお世話になっております。XYZ社の[あなたの名前]でございます。

平素より弊社製品をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。来年度の貴社生産計画につきまして、ご教示いただきたくご連絡いたしました。

弊社では、貴社の生産ニーズに的確に対応するため、事前に必要な部品を適切に供給する準備を進めております。つきましては、来年度の生産計画についての情報をご共有いただけますと幸いです。

お手数をおかけいたしますが、ご確認のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

XYZ社

[あなたの名前]

[あなたの連絡先]

求める客層、必要な設備、APIポイント、予算など、いわば「5W1H」をきちんとデータとして与えてあげます。そしてそれを前提に「企画書にしてください」「SNS向けの文章にしてください」などという指示を与えてみます。

図表1のような文章が返ってきました。これを必要に応じて修正してあげばよいでしょう。

ここにあげたのは簡単な例ですが、もっと高度な、たとえばコンピューターのプログラムを作らせるとか、大量の販売データを分析させて次の打ち手を考えさせるといったこともできるのです。

ビジネス文書は大得意

報告書やビジネスメールといった、定型的な文章はさらに得意です。図表2は取引先への依頼メールです。お詫びやお願いなどの場

合は、これをベースに、自分の言葉を心を込めて加えていけばよいでしょう。

プロンプトエンジニアはAIをいやつる「魔術師」とも呼ばれ、需要が高まっています。海外では数千万円の年収を提示する求人もあったとして話題になりました。

当社のプロンプトエンジニアリング研修では、基本的なスキルから高度な応用手法まで学ぶことができ、業務に大きく活用いただけます。

ChatGPTプロンプトエンジニアリング研修 ～使いこなすための応用手法を学ぶ～

通常価格 44,000 円

- 到達目標**
- ChatGPTの効果的な使い方を学ぶ
 - ChatGPTを使いこなし、業務効率化・ビジネスの拡大を行う
 - 生成系AIを使い、幅広い層を対象に生産性を高める



研修詳細

※表示価格はすべて税込み、公開講座のもので(2024年6月1日現在)



それはデキる部下

AIは、使い減りしない優秀な部下、またはアシスタントだと考えます。その活用は人間次第。人間の仕事が取られるのでは...という心配は無用なのです。

1 アイデアの創出

論点の明確化にあたり、壁打ち・プレスト相手として自身の気づかない点を提示してくれる点は大いに有効です。



2 翻訳

一般的な翻訳はChatGPTの最も得意とする分野の一つです。例えば、日本語から英語、英語から日本語と繰り返すことにより、文書として完成度を上げることができます。



3 資料のドラフト作成

資料作成は第一稿を作成するまでに意外と時間がかかります。ChatGPTにてまず素案をつくり、改善していくことが資料作成の近道になります。



4 文書校正や要約

一般的な要約はかなり高精度で出力できます。しかし、自組織・自身にとって重要な部分を抽出するためには、かなり詳細にプロンプトを作成する必要があります。



たくさん考えさせて、最後の判断は人間がする

ChatGPT登場のインパクトはスマートフォン登場に匹敵するでしょう。いままさにAIを活用した様々なサービス・ビジネスが花開こうとしています。周辺サービス・商品も一気に拡大する可能性が高いでしょう。また、人

手不足を抜本的に解消する可能性があるとみられています。ビジネスの現場では、AIを「優秀な部下」としてとらえることが大事です。24時間戦える上に文句も言いません。AIにたくさん考えさせて、最後の判断は人間がする

ということが大事です。

それには、AIの得意な分野をよく把握しておきましょう。

たとえばプレスト・壁打ちと呼ばれるアイデア出し。対話を繰り返していくうちに精度の高い案が出てくるでしょう。プレゼン資料などの初稿づくりにも大変便利です。

ただ、企業秘密を入力することはできないという点は忘れないようにしましょう。

人間の豊かさを導く

AIは恐れるべき対象ではありません。優秀な部下であるAIを使いこなし、人間は空いた時間で、人間にしかできないことを追求する。

それこそがDX（デジタル化による変革）であり、人間の豊かさにつながっていくことだと考えます。

ChatGPT (生成系AI) 研修 主なラインナップ

マインド

- ・ はじめてのChatGPT体験 超入門研修
～2時間でChatGPTの基本操作と活用シーンを理解する
- ・ 営業DX推進! ChatGPT活用training camp
～初心者から1日で業務で使えるスキル を習得

活用理解

- ・ ChatGPT理解研修～導入事例やリスクを知り、組織での活用方法を検討する
- ・ 出版業界のDX推進に向けた管理職のためのAI活用研修
～ ChatGPTを活用した文書作成・校正と適切な運用管理を学ぶ

スキル

- ・ ChatGPTプロンプトエンジニアリング研修～使いこなすための実践手法を学ぶ
- ・ 住宅メーカーの営業に活かすChatGPTプロンプトエンジニアリング
～お客様像の理解と提案力を高める実践トレーニング
- ・ 実践的な生成AI活用研修～ ChatGPTとGemini、Claude
～東京都のAIガイドラインに基づく業務適用と実践的なユースケース

文書作成

- ・ ChatGPTを活用したビジネス文書研修～文書作成の新スタンダードを学ぶ

Excel

- ・ ChatGPT×Excel研修～ Excel初級者でもAIの力で使いこなす
- ・ ChatGPT×Excel研修～知識ゼロからマクロを作る

Microsoft 365

- ・ Microsoft 365 Copilotの使い方研修～ Excel・PowerPoint操作を効率化する

データ分析

- ・ ChatGPTで行うデータサイエンス研修
～プログラミング知識不要! ChatGPTを活用したデータ分析手法を習得する
- ・ ChatGPTで生成AIの応用力を身につける研修
～建設分野の技術研究に生成AIを活用する
- ・ ChatGPT×Pythonプログラミング研修～自動化・データ分析編

顧客対応

- ・ 顧客対応のDX化研修～ ChatGPTでAIチャットボットを開発する

入門から上級まで、さまざまな研修をご用意

インソースグループでは、ChatGPT (生成系AI) 活用のための様々な研修を用意しております。まだAIを使ったことのない方向けの研修から、業務ですでに活用している方、組織での導入を検討されている方で、ご受講者様の状況に応じた研修をご用意しています。

1名さまからオンラインで参加できる公開講座や、講師が貴社をご訪問する形の研修、複数の講座を貴社の状況に合わせて組み合わせたものなど、さまざまなご要望に合わせてご提案をいたします。
入門から基礎、応用までセットで行うパターンをご推奨コースとしてお示しています。

【ご推奨】ChatGPT一気に習得コース

STEP 1 ChatGPTの 始め方	STEP 2 業務効率化の ためのChatGPT	STEP 3 ChatGPT プロンプト エンジニアリング	STEP 4 ChatGPTを 活用した文書作成	STEP 5 ChatGPTの Excel活用	STEP 6 ChatGPTを 活用したデータ分析
マインドセット	活用・用途理解	実務スキル	実践力アップ	実践力アップ	データ分析活用
対話型AIとは ChatGPTと会話 してみる ChatGPTを仕事 のスピードアップ に役立てる	ChatGPTの得意 分野を理解する 欲しい回答を引き 出す質問の仕方～ プロンプトエンジ ニアリング 文章・資料作成を 効率化する 企画・アイデア出 しを支援してもら う	対話の質を高める ためのプロンプト エンジニアリング (=生成AIへの質 問・指令文) プロンプトの文法 ～基本的な書き方 実践演習	ChatGPTの効果 的な活用方法～ 文書作成のシーン ChatGPTの苦手 分野 実践! ChatGPT を活用した文書作 成	Excelでよくある つまづきの例を ChatGPTにきい てみる ChatGPTでExcel での作業の生産 性を劇的に高める ～ChatGPTで Excelスキルをレ ベルアップする	実際にChatGPT を使い、プログラ ムを作ってみる やりたいことを洗 い出し、順番を整 理する～アルゴリ ズム データ分析のため に必要なPython の理解 Pythonを活用し たデータ分析

AI と作る表紙デザイン

いま手に取っていただいている冊子「DXpedia」の表紙のイラストも、実はAIを駆使して当社のデザイナーが制作しました。



デザイナー

モチーフは「馬」にしよう。あとで文字を入れるので背景はシンプルにしないとな、AIに指示するぞ。

真っ白い背景を駆ける馬の絵を作って



生成系AI



デザイナー

写真っぽいのが出てきたな。もう少し抽象的にしたいなあ。デジタル技術の冊子なので、「ポリゴン」という言葉を指示してみようか。

真っ白い背景を駆けるポリゴンの馬の絵を描いて



生成系AI



デザイナー

かなりイメージに近づいてきたよ。馬の顔をもう少しあいまいにしてもいいかな。「抽象的」と入れようか。

真っ白い背景を駆ける抽象的なポリゴンの馬を描いて



生成系AI



デザイナー

なかなかいい感じになってきた。ここから背景を加工して、文字を入れていこう。最終的な仕上げは人間さまの腕の見せ所だ...!

AIアシスタント、ご苦労さま

この冊子の表紙デザインにはアイデア出し→画像生成→背景拡張の3段階に分けてAIを使っていますが、ここでは第2段階の画像生成を中心にご説明します。

アイデア出しを経て躍動的で力強いイメージの「馬」をモチーフ

にすることを決め、AIとやりとりしながらイラストを作っていました。ここで使用したのはAdobe社の画像生成AIサービス「Adobe Firefly」です。

指示を少しづつ具体的に近くことで、デザイナーの意図に近

い画像が出来上がっていました。最終的な仕上げはデザイナー自身が行いますが、優秀なアシスタントとして活用できた事例でした。

Web版





白山から宇宙へ



第1回

未来を切り拓くSX -スペース・トランスフォーメーション-

今年（2024年）に入ってから、日本だけでも、月面への無人探査機SLIM（スリム）の着陸、新型ロケットH3の打ち上げ成功など、宇宙に関する話題をよく聞きます。宇宙というと、ロケットや人工衛星といった巨大産業のことを思い浮かべますが、実は、この技術の中心にはICT（情報通信技術）が常にあるのです。

宇宙開発は1950年代より始まりました。当時は米ソの国家の威信をかけた競争でした。1957年10月に旧ソ連により、世界初の人工衛星スプートニク1号が打ち上げられ、3カ月後にアメリカも人工衛星を打ち上げました。

その後アメリカは、1969年7月にアポロ11号による人類初の月面着陸に成功しました。地球と月との交信に欠かせないICTも大きく発展したのです。

70年代になると、東西冷戦の影響で宇宙は主に軍事関係（大陸間弾道ミサイル、軍事偵察衛星、軍事通信衛星）で利用されます。80年代以降は気象衛星や放送衛星など非軍事分野で進展。90年代に入ると、宇宙望遠鏡・宇宙ステーションなどが活躍します。

21世紀に入ると、宇宙の世界にも民間組織・技術が徐々に増え、現在ではスペースX社に代表される民間企業が続々参入しています。利用分野もGPSや衛星通信、資源や環境・温暖化といった現代的なテーマが焦点となっており、いうまでもなくICT技術が重要な役割を果たしています。

日本政府も2008年、内閣総理大臣をトップとする「宇宙開発戦略本部」を立ち上げ、戦略的に宇宙研究・開発に官民が手を合わせて乗り出しています。

2023年には「宇宙戦略基金」を創設。宇宙航空研究開発機構（JAXA）経由で民間企業や大学、研究所に今後1兆円規模の委託・補助金を交付する計画です。

宇宙開発は民間ビジネスの現場になりつつあります。今後人類が活動領域を広げ、地球の課題を解決するための新しい舞台。宇宙から経済・社会の変革をもたらす「スペース・トランスフォーメーション」すなわちSXが始まりつつあるのです。



by コンステレーション

宇宙は、ICTを中心としたさまざまな技術にくわえ、人類としての知識・経験・発想・アイデア全てを使って挑戦するステージです。当社では、新たなチャレンジとして、宇宙関連の研修をスタートさせる予定です。当社の所在地である「白山」で学ばれた皆さまが宇宙へはばたく日が来ますように...

官民連携の会議体として設立したデジタルリテラシー協議会では、DX時代の学習の土台として3つの領域（IT・ソフトウェア、数理・データサイエンス、AI・ディープラーニング）を定義しており、それらに対応した3つの試験の範囲を学習すべき範囲として推奨しています。

国家試験である「ITパスポート試験」に加え、「データサイエントイスト検定リテラシーレベル」「G検定」がそれで、これらのうち1つに合格した人に「DX推進バ

DX推進に役立つ資格特集①

～話題のDX推進パスポートをご紹介します！

2024年5月17日 公開

Web版



DX人材の認定の枠組みとして、3つの試験のうち1つ以上に合格することで得られる「DX推進パスポート」のバッジができました。

DX推進パスポートを得られる3つの試験

- 合格数に応じて「DX推進パスポート1〜3」を取得できる
- ITパスポート試験
IT・ソフトウェア領域
ITに関する基礎的な知識が証明できる国家試験
 - データサイエンティスト検定リテラシーレベル
数理・データサイエンティスト領域
データサイエンスなど見習いレベルの実務能力を証明
 - G検定
AI・ディープラーニング領域
AIを活用するエンジニアを目指す人向けの試験

「DX推進パスポート1」、2つ合格、3つ合格すればそれぞれ「DX推進パスポート2」「同3」のバッジを得られる仕組みができました。

バッジを所持している人は、DX人材として一定の知識やスキルがあると認められていることになります。みなさんも目指してみてくださいいかがでしょうか。

パソコン画面をつけたまま席を立っていませんか？

2023年9月12日 公開

Web版



自席を離れる時、パソコンの画面をそのままにして席を立っていませんか？ ロックをかけなかったばかりに取り返しのつかないことになることも……

顧客情報、社内の機密情報……、いつだってビジネスパーソンのパソコン画面に表示される情報は、重大なセキュリティ事故につながる可能性を秘めています。

少し目を離れた際に、誰かがパソコンを勝手に操作したり、機密情報を盗み見して外部に持ち出したりするかもしれません。

社内だから大丈夫だろうという認識は捨てましょう。

席を外す際、パソコンはロック画面に切り替えることが最低限のビジネスマナーとされています。セ

1秒でロック！ ショートカットキー

1. 「Windows」キー + 「L」キー

Windowsキーがない場合は？

1. 「Ctrl」キー + 「Alt」キー + 「Delete」キー
2. 青色のメニュー画面に切り替わるので、「ロック」をクリック
3. 通常のロック画面が表示されたら完了

セキュリティの観点から、離席時のロックを義務化している会社もあるほどです。

セキュリティ管理の甘さは、情報の漏えいだけでなく、時に会社の信用に関わることもあります。

例えば、会社に訪れたお客様が、たまたま顧客情報を開きっぱなしで離席しているパソコン画面を見たらどう思うでしょう。第三者に情報が洩れる可能性があるだけでなく、セキュリティ管理能力の低い会社だと判断されかねません。

ショートカットキーを使って画面をロックするのが一番簡単です。ピーディーです。

システム開発のための

プロジェクトマネジメントの

極意

先人の知恵、次世代の成功へ

ベテランプロジェクトマネージャーの経験が詰まった極上研修
全工程を網羅する、確かなスキルがあなたを一步先へ導きます

初級～中級者向け

経験はあるがスキル不足を感じる方へ向けた、極意シリーズ

■ プロジェクトマネジメント研修～心得・立上げ・推進・ツール(2日間)

プロジェクト管理作業を、「誰を相手にどんなコミュニケーションを
どんな技術で」の観点から学ぶ

通常価格	会員価格
88,000円	82,000円

■ プロジェクト管理の極意～心得・準備・計画・監視/コントロール/終結(3日間)

プロジェクトを委託者の視点から整理し、**PMBOK第6版のプロセ
スに準拠**しつつ、ベンダーと協力しながら管理する

通常価格	会員価格
109,800円	100,800円

中級～上級者向け

ハイリスクなプロジェクトを成功に導くための、極意シリーズ実践編

■ ハイリスクプロジェクト管理研修～予兆管理

ハイリスクプロジェクトとは何か、その特徴を理解し、分析・評価する
方法と**効果的なリスク対策を打つ**

通常価格	会員価格
52,800円	48,800円

その他、シリーズ研修一覧

- スケジュール管理研修～スケジュール監視・コントロールの進め方
- テストの勘所研修～ソフトウェア品質は上流工程が決める
- リレーショナルデータベース開発の極意～分析・設計、そして保守
- プロジェクトマネジメント研修～ITインフラ構築編(2日間)
- システムトラブル対応研修～マニュアルの不完全さを補う
- システム障害未然防止研修～システム障害の考え方
- 要件定義研修～要件の変化と仕様化技術

カスタマイズ可能な講師派遣、
1名さまから参加できる公開講座
どちらもご用意しております。

その他極意シリーズ詳細はこちら▶

極意シリーズ システム開発 🔍



表示価格はすべて税込み、公開講座のもので(2024年6月1日現在)

DXpedia® Vol.1 編集:末益 公一 デザイン:藤川 千尋

お問合せはこちら ☎ **03-5577-3203** ✉ ida_info@insource-da.co.jp

株式会社インソースデジタルアカデミー 〒113-0001 東京都文京区白山 1-32-10 インソース白山ビル

Copyright © Insource Digital Academy Corporation 「DXpedia」の名称およびロゴは株式会社インソースデジタルアカデミーの登録商標です。

insource
デジタルアカデミー

001_240601G